

町の考え方を問う

一般質問

12月定会では、町政全般へ8人の議員が12項目にわたる一般質問を行いました。なお、質問者及び質問項目は、左の表のとおりです。

- 勝俣 公好 (P3)
 - ・旧仙石原中学校跡地活用について
- 石川 栄 (P4)
 - ・人口政策及び定住化に係る住民登録のあり方について
- 山田 成宣 (P4)
 - ・ジオパーク推進事業について
- 村野 由紀子 (P5)
 - ・防災対策について
 - ・読書の推進について
- 川端 祥介 (P5)
 - ・箱根町行政改革と行政評価について
- 沖津 弘幸 (P6)
 - ・神奈川県厚生福利振興会が運営する大平荘の閉鎖について
 - ・神奈川県が当町に所有する土地や施設の取り扱いについて
 - ・平成24年度予算編成方針について
- 村上 東司 (P6)
 - ・箱根町の観光に対する取り組みについて
- 山田 和江 (P7)
 - ・国民健康保険料の引き下げについて
 - ・安心できる介護保険制度について

企画

旧仙石原中学校跡地活用について

Q 「町民からの意見聴取等、町の取組みとその経過について」

A 平成19年11月中旬から12月下旬まで跡地利用についてアイデアを募集し、同年12月に町内5地域において意見交換会を実施、仙石原地域においては、町からお話をさせていただいた。その後、平成21年6月に住民説明会を開催し、さらに、平成22年3月にプロポーザル実施による具体的な利用条件等を説明させていただいた。また、施設利用団体の皆さんに、意見等を伺い、条件づくりの参考とさせていただいた。

提案があるのではないかと考えている。

Q 「町民等の利用について」

A 防災対応は現在、避難場所として指定されているグラウンド、避難施設として指定されている体育館、さらには、現在、避難施設として指定していない格技場についても、有事に備えて利用できるよう事業者と覚書を締結することを募集の条件としていきたい。

Q 「事業者選定基準における審査の配点の考え方」

A 審査の手順は、まず、町において事業者の資格要件等を審査し、要件を満たした場合、事業者の提案書等を、学識経験者、仙石原地域の代表者、町職員からなる「事業者選定委員会」

において、審査。審査に係る評価は、審査事項に係る評価とグラウンドの有償貸付けに係る提案価格の評価からなり、審査事項は、計画全般に関する事項、既存施設の活用計画に関する事項、既存施設の維持管理に関する事項、既存施設の活用範囲に関する事項、地域社会・経済への貢献に関する事項を14の項目において審査し、最優秀提案を選定して町に報告していただく。その後、町において優先交渉者を決定し、協定書や契約の締結を行う。

A スポーツ施設や芸術、文化、環境に関する施設に関連する

Q 「予想される提案内容」

「事業者選定委員会」



旧仙石原中学校